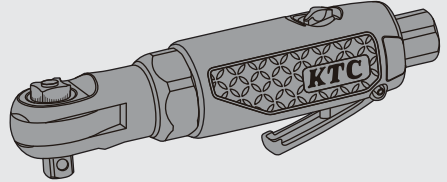


9.5sq. コンポジットミニ型ミニラチェ  
No.JAR331

# 取扱説明書



## 安全上のご注意

この取扱説明書には以下のマークを付けています。

	拡大被害が予想される事項		禁止行為
	必ず行う		確認 確認行為

- 第三者に譲渡、貸与される場合もこの説明書を必ず添付してください。
- この説明書は大切に保管してください。
- 本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店もしくは弊社お客様窓口にご連絡ください。

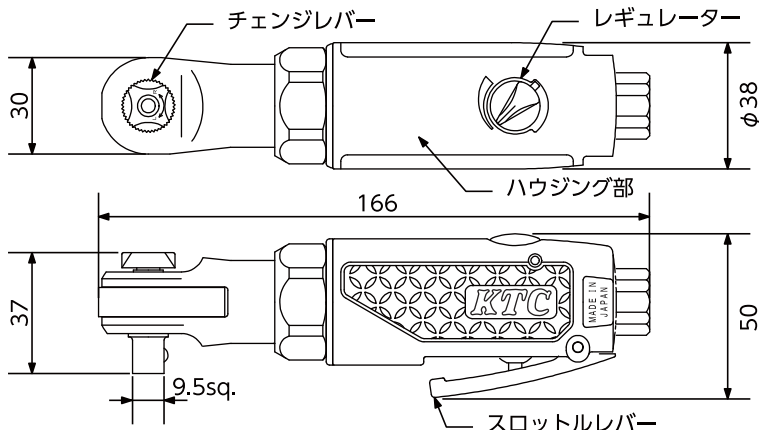
使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく使用してください。

<b>警告</b> <small>はい ごとく</small>		死亡や重傷の原因となる。	
絵表示	重要事項	危害・損害	
	●安定した作業姿勢で作業を行う。	落下や転倒などによるケガのおそれがある。	

<b>注意</b> <small>ちゅう い</small>		ケガや器物損傷の原因となる。			
絵表示	重要事項	危害・損害	絵表示	重要事項	危害・損害
	●分解・改造をしない。	器物損傷の原因になる。加熱加工した場合には本来の性能を発揮することができない。		●長時間空回転させない。	破損の原因になる。
	●適用以上の作業はしない。	破損の原因になる。		●保守、点検をする。	製品に亀裂や変形がある場合は使用を中止する。
	●手動工具用ソケットは使用しない。	破損の原因になる。		●落下させない。	破損の原因になる。
	●化学薬品、海水、水分などを付着させない。	破損の原因になる。		●保護めがねなどの安全具を使用する。	ケガの原因になる。
	●回転している先端工具に触らない。	ケガの原因になる。		●水のかかる場所で使用しない。	破損の原因になる。
	●圧縮空気以外は使わない。	破損の原因になる。		●作業前に点検を行う。	製品に亀裂や変形がある場合は使用を中止する。
				●確実に本体を保持する。	反動により本体が動きケガの原因となる。

# 製品寸法・名称

ドライブ角	9.5sq.	使用空気圧（動圧）	0.62Mpa(6.32Kgf/cm <sup>2</sup> )
能力ボルト径	M10	無負荷空気消費量	0.32m <sup>3</sup> /min
無負荷回転数	250rpm	エアインレット	PT1/4"
重量	500g	使用エアホース内径	8mm以上



## お使いになる前に

エアラチェットをお使いになる前に以下をよくお読みのうえ、正しく使用してください。

### ●ご使用のエアについて

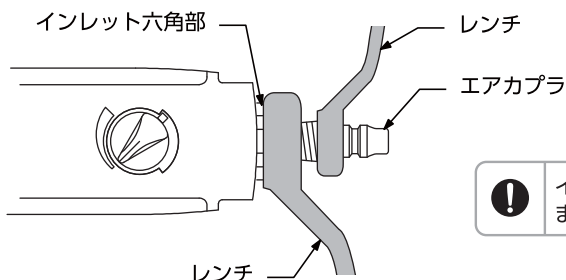
#### 確認

- 常に清浄で乾燥した適正圧の圧縮空気を使用する。
- 配管にはフィルター、レギュレーター・オイルーを使用する。
- コンプレッサや配管は定期的に点検清掃し、ドレインや水分を除去する。
- 使用機器全体の必要エア量に応じたコンプレッサ、配管、ホースにする。
- 老化したホースは使用しない。
- ホースや配管などは長くなると、空気圧を大幅に損失します。
- 付属のエアカプラを使用する。他のものを使用すると、エア漏れ、トルク低下の原因となる。

### ●エアカプラの取り付け

エアカプラの取り付け時には必ずインレット六角部の回り止めを行う。

回り止めを行わないと、インレット六角部が増し締めされ作動不良の原因となる。

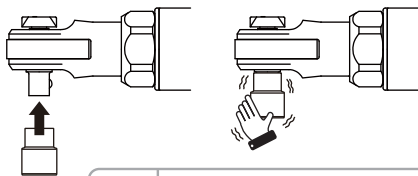


インレット六角部を「めがねレンチ」または「スパナ」などで回り止めをする。

# 使用方法

## 1. 先端工具を取り付ける

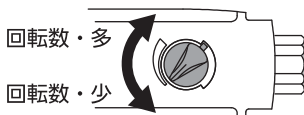
使用目的にあった先端工具（ソケットなど）をドライブ角に取り付ける。



先端工具がしっかり取り付けられていることを確認する。

## 2. レギュレーター調整

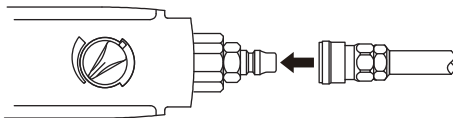
本体のレギュレーターで回転数を調整する。



エアホース接続前に行う。

## 3. エアホースを接続する

適正圧に調整されたエアホースを本体に接続する。

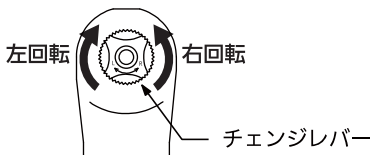


### 確認

エア動圧は、  
0.6~0.7Mpa (6~7Kgf/cm<sup>2</sup>)  
で使用する。  
適正使用空気圧：0.62Mpa(6.32Kgf/cm<sup>2</sup>)

## 4. 回転方向を確認する

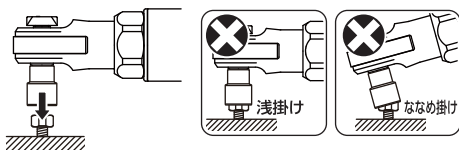
チェンジレバーを操作し、回転方向を決める。



チェンジレバーは確実に切替をする。

## 5. ボルト、ナットにセットする

浅掛け、ななめ掛けにならないように、確実にセットする。



浅掛け・ななめ掛けしない。

## 6. スロットルレバーの操作

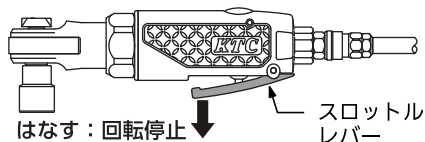
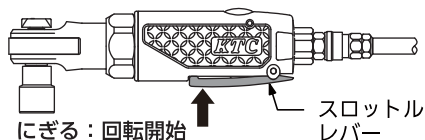
スロットルレバーをにぎることで、エアが本体に送られ、回転を始める。止める時はスロットルレバーを離す。

### ●ボルト・ナットを締める

スロットルレバーをにぎり回転させる。回転が止まったら、本体で増し締め、またはトルクレンチを使用して適正なトルクで締めつける。

### ●ボルト・ナットを緩める

本体で緩めてからスロットルレバーをにぎり回転させる。



- スロットルレバーはゆっくり操作する。
- 本体が動いても安全な場所を確保する。
- 作業始め、終わりに反動で本体が動きまゝ。本体をしっかり保持し、ゆっくりとレバー操作を行う。

# メンテナンス・お手入れ方法



**注意**

ケガや器物損傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	●ハウジング部にシンナー、ベンジンまたはアルコール及び有機溶剤を含むクリーナーなどを使用しない。	表面が溶けたり変質、変形したりするおそれがある。

## ●注油時期と方法

使用後にエア取り入れ口（インレット部）から付属のオイルまたはエアツール用オイルを数滴注油し1～2秒程度回転させる。



長時間空回転させない。



先端工具は取り外す。

## ●保管方法

保管時はエア取り入れ口（インレット部）からゴミやホコリが入らないように保管する。

## ●修理

保守パーツはKTC純正部品をご使用ください。また修理はお買い求めの販売店様にご相談ください。

# 故障かな?と思ったら

症状	考えられる要因	対処方法
動かない	エアホースが接続されていない。	エアホースを接続する。
	エアが来ていない。	コンプレッサ及びエア配管を確認する。
	コンプレッサの異常。	コンプレッサを確認する。
	チェンジレバーが正しい位置ではない。	確実に切り替える。
力が弱い	ボルト・ナットが締まっている。	最初に本体を使用して手で緩める。
	エア圧が不足している。	コンプレッサ及びエア配管を確認する。
	エアホースの内径が細い。	適切な内径のホースを使用する。(8mm以上)
	コンプレッサ能力が低い。	エア消費量に見合ったコンプレッサを使用する。
	レギュレーターが適正でない。	レギュレーターを操作する。

製造国：日本 販売者の名称・所在地：京都機械工具株式会社 〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地128番地 【製品情報】 <http://ktc.jp/>

### お客様窓口

☎(0774)46-4159 FAX(0774)46-4359

E-mail: support@kyototool.co.jp

電話受付時間：9:00～12:00/13:00～17:00

(土・日・祝祭日及び弊社休業日除く)

本製品の問い合わせは、お客様窓口又は最寄りの下記支店までお寄せください。

支店 ☎東京 (03)3752-2261 名古屋 (052)882-6671

近畿 (0774)46-3711

※仕様及び外観は改良の為予告なく変更することがあります。